

Press release

2011年12月19日

東日本大震災により、お亡くなりになられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。

東日本大震災被災地支援に関するご報告および、 福島県相馬市における贈呈式について

化学・消費財メーカーのヘンケル社(ドイツ・デュッセルドルフ)の日本法人ヘンケルジャパン株式会社(所在地:東京都品川区 社長:玉置 眞)では、ヘンケルの世界各国の拠点にて集められた東日本大震災被災地支援の義援金の寄付先を検討して参りました。このたび、福島県相馬市に対し公用車の寄贈と教育復興子育て基金への寄付を決定しましたので、ご報告いたします。

■寄付内容

| | |
|----------|---|
| 【寄付総額】 | ¥11,323,764 |
| 【内訳】 | ¥9,711,414・・・公用車 7 台 (ホンダ アクティバン 4WD 5 台、ホンダ アクテイトラック 4WD 1 台、 ホンダ フィットシャトルハイブリッド 1 台) ¥1,612,350・・・相馬市教育復興子育て基金 |
| 【寄贈・寄付先】 | 福島県相馬市 |
| 【贈呈式】 | 2011年12月20日(火) 13時~14時 |
| 【会場】 | 福島県相馬市役所(福島県相馬市中村字大手先13) |
| 【出席者】 | 相馬市 立谷 秀清 市長 ヘンケルジャパン株式会社 代表取締役社長 玉置 眞 ほか3名 |

【寄付先選定の背景】

ヘンケルジャパンでは、被災地の皆さまに現場でお役に立てるものを確実にお届けしたいという思いから、社内で義援金の用途と贈呈先の検討を重ねてまいりました。日本国内約880名の従業員より募集したアイデアの中から、福島県相馬市の窓口の方に直接ご要望をお伺いできる機会を得ることができ、8月末には公用車支援を決定するに至りました。タイの洪水と震災から続く車両部品の供給不足が重なり納車には予定よりも時間がかかりましたが、年内に被災地へお届けすることができ大変うれしく思っています。

この義援金の総額ですが、原資は全世界のヘンケルの従業員から集められた義援金であり、これにドイツ・デュッセルドルフ本社より同額を上乗せしたものです。

ヘンケルジャパンでは、相馬市並びに東北地方の被災地の一刻も早い復興をお祈りし、今後も微力ながらできる限りの支援活動を行ってまいります。

ヘンケルはブランドとテクノロジーのグローバルリーダーとして、ランドリー&ホームエア、コスメティックス/トイレットリーズ、アドヒーズ/テクノロジーズ(接着技術)の3つの分野で事業展開をしています。ヘンケルは1876年の創立以来、コンシューマービジネスおよび産業分野において、Persil(ペアジール)、Schwarzkopf(シュワルツコフ)、Loctite(ロックタイト)などに代表される有名なブランドの数々と共に、グローバルにおけるマーケットリーダーとしての地位を維持しています。ヘンケルの従業員数は約50,000人、2009年度の売上高は135億7千3百万ユーロ、調整後の営業利益は13億6千4百万ユーロを計上しました。ヘンケルの優先株はドイツ株式指数DAXのリストに入っており、「フォーチュン世界500社」にランクされています。

— 本件に関するお問い合わせ —

ヘンケルジャパン株式会社 広報室 青木 雪絵

TEL: 045-758-1707(青木) / 045-758-1846(広報室) FAX: 045-758-1851

広報代行: 共同PR株式会社

第3業務局 山路聡司、森田明伸、菅原由芳

TEL: 03-3571-5236 FAX: 03-3574-9364